

傍観者教育について

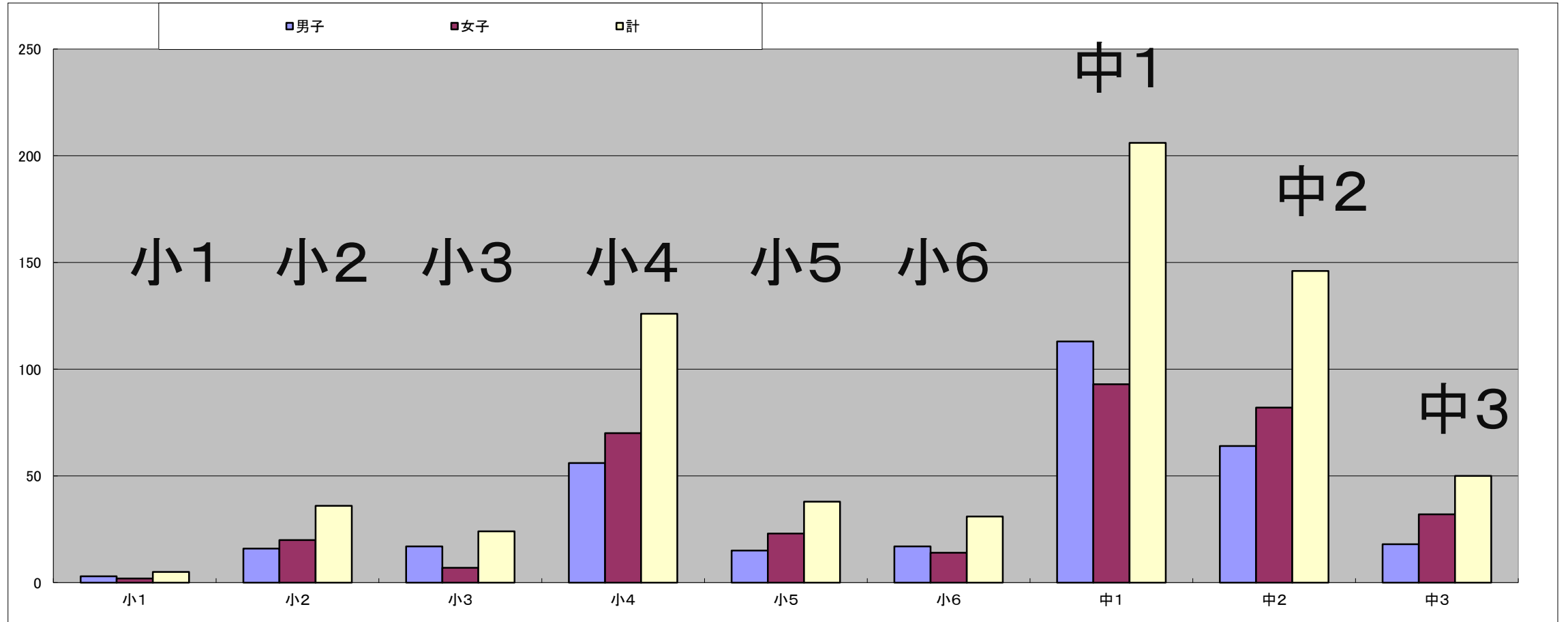
指導課生徒指導室

傍観者教育

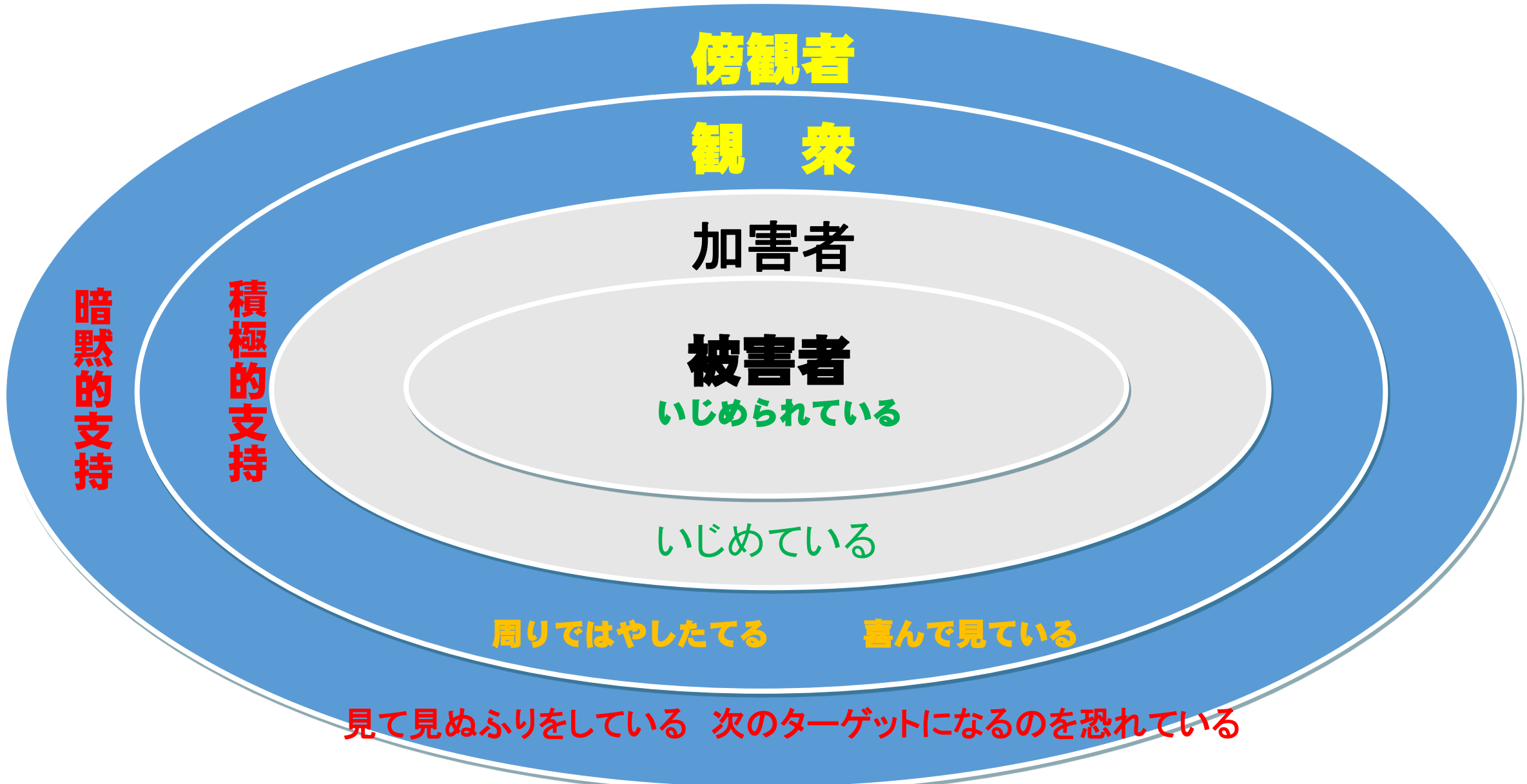
- いじめには加害者・被害者のほかに「傍観者」があり、いじめの早期発見・解決するためには傍観者の行動が重要。
- その傍観者の意識を育成することを目的に中学校1年生の全学級を対象に傍観者教育を実施

なぜ中1対象なのか

平成27年度学年別いじめの認知件数

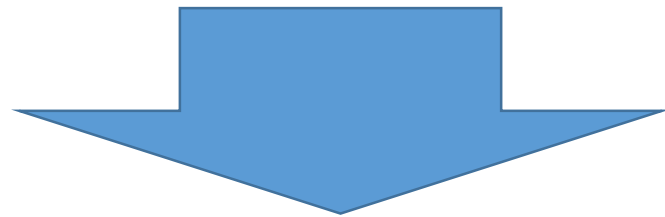


いじめの4層構造



いじめの構造

- いじめは「被害者」と「加害者」だけの問題ではない
- 周りではやし立てたり, 喜んだりする「観衆」
- 見て見ぬふりする「傍観者」
- 「観衆」も「傍観者」もいじめを助長する存在になりうる。
- 「加害者」が「被害者」に「観衆」や「傍観者」が「被害者」になりうる。

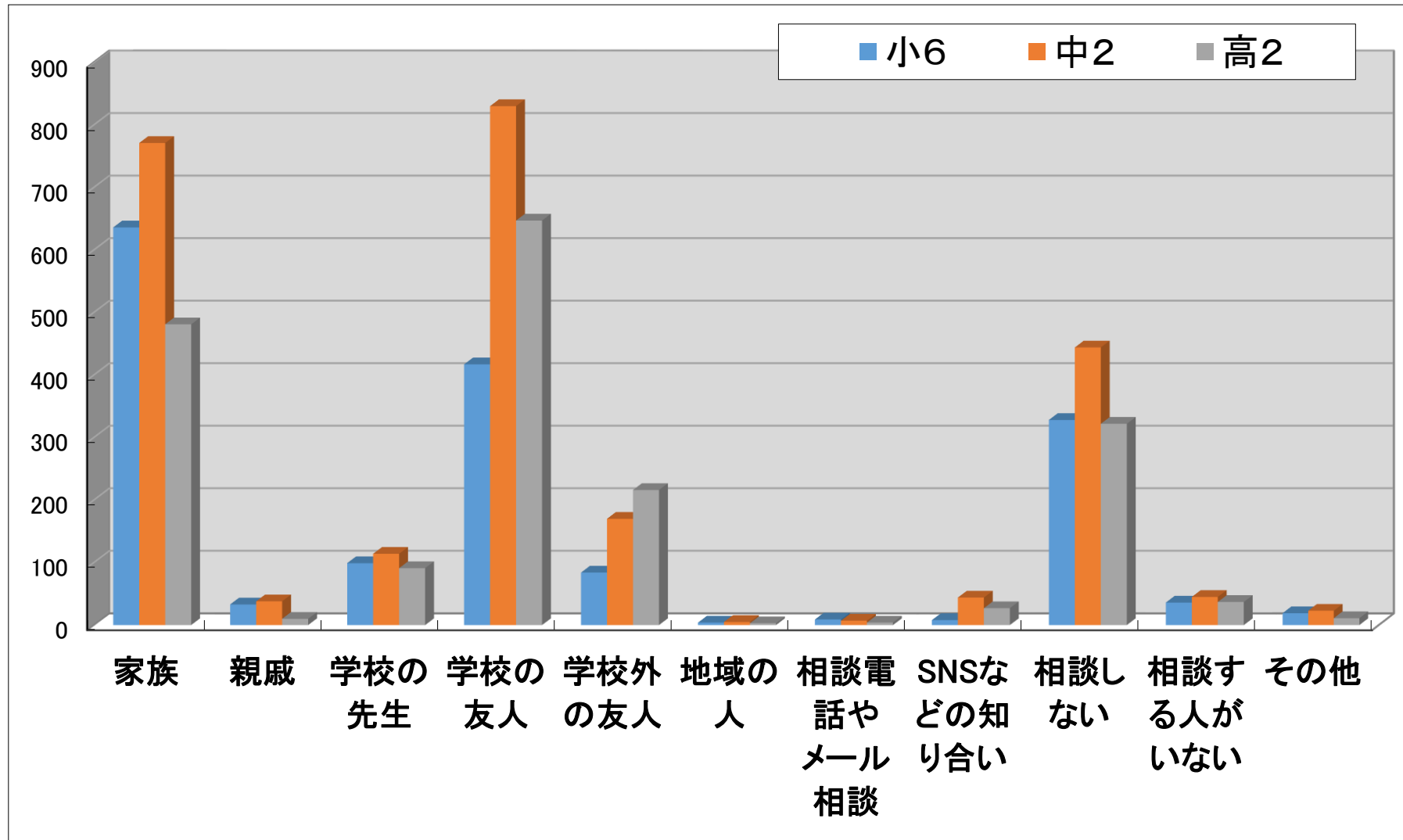


**傍観者(加害者・被害者等の当事者以外)
の「意識」を変える教育が重要**

誰に相談するか

(H28. 柏市学校警察連絡協議会生活実態調査より)

* 抽出 小学6年生:約1200名 中学2年生:約1700名 高校2年生:約1200名



《課題解決に向けた新しい取組》

- ・ ネットいじめ等の早期発見と抑止力を生み出すための新たな手立てとして

◎「ネットいじめの傍観者にとどまらず，行動を起こすことの重要性を理解させる授業の実施」

+

◎「ネットいじめをとめるために相談または情報提供しやすいツール(アプリ)の提供」

平成29年度より柏市内全中学校(20校)1年生，全クラスで実施する。
(アプリの提供は，全学年)